



交野おりひめ大学通信

一人じゃ出来ないことを、10人で、50人で、100人で！

令和8年6月号

6月のお菓子 水無月

「一人じゃできない事を、みんなで」 交野おりひめ大学の 法人社員総会開催

新緑がまぶしい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

私たちの活動を支える法人「一般社団法人 交野おりひめ未来研究所」の第8回定時社員総会が、5月16日「CIVIC BREWERS」にて開催されました。

今回は、交野おりひめ大学の魅力をおさらいしつつ、総会で共有された熱い活動報告とこれからのワクワクする計画についてお届けします。

◆交野おりひめ大学とは？

市民がつくる「学びと実践の場」交野おりひめ大学は、「一人じゃできない事を、みんなです」を合言葉に、一般社団法人「交野おりひめ未来研究所」が運営する市民大学です。

法人の目的は、この大学を通じて「輝くヒト、楽しいト」、明るいマチ」を創造し、年齢を超えてともに学び、地域を活性化すること。一人ひとりの「やってみたい！」という純粋な興味がすべての入り口です。先月、お伝えしたように、現在は「おさけ学科」「そば学科」「クラフトビール部」「カフェ部」「ティラノサウルススレー学科」など、個性豊かな学科や部活がそれぞれのカラーで楽しく活動しています。

◆昨年度の活動を振り返って
「つながり」と対話の1年
総会では、昨年度の重点課題であった「コミュニケーション改善」を中心に、さまざまな成果が報告されました。

・学科を超えた本質的な対話
縦割りになりがちだった各学科の壁を越え、昨年度は「なんのために活動するの

か？」という原点に立ち返る対話の場を重ね、お互いの参加動機や想いを分かち合うことで、「無理に一体化せずとも、困ったときに支え合える」「緩やかなつながり」の大切さを再確認する1年となりました。

・交野新聞での毎月情報発信

交野新聞の紙面をお借りして、毎月「交野おりひめ大学通信」を発信し、市民の皆さまへ活動の様子をお届けしてきました。

・地域に飛び出す

新しいプロジェクトの誕生
昨年度は、具体的な課題に向き合う自主的なチームが新たに発足し、大きな活気をもたらしました。

【CIVIC知らしめ隊】

大学の活動から生まれた「CIVIC BREWERS（シビックブルワーズ）」の魅力を広く市民に届けるチーム。今年度は、CIVICの積極的なPRに加え、新たにオリジナルビールの受注生産などのPRにも注力していきます。

【乾杯条例推進チーム】

市産業振興基本計画推進会議の交付金を活用し、「交野らしい乾杯の発声」を創出するプロジェクトが始動。地域産業のにぎわい創出に向けて活動を進めています。

◆お金のハナシも透明に

みんなの登録料はどこへ？
総会では会計報告も行われました。学科生からいただく大学登録料（年3千円）は、家賃や通信費、保険料、開講式費用といった法人の基本運営部分を賄うために使われています。一方で、イベントや新しいプロジェクトなどの様々なチャレンジは、正会員費や賛助会員費、寄付等で賄うというクリアな構造が説明されました。

- そば学科
- おさけ学科
- クラフトビール部
- 交野伝説学科
- 酒づくりの会
- かのカンヴァス
- カフェ部
- KATANOホイスコーレ企画室
- 目指せ！交野でティラノサウルスレース学科

た。昨年度は大きなイベント等の影響もあり、1万円あまりの微小な赤字となりましたが、健全な運営体制を維持しています。

◆今年度の方向性

「見える化」と「さらなる挑戦」

今年度は、これまでの「自由でゆるやかな関わり」という良さを大切にしながら、次の方針を進めていきます。

・活動の見える化と交流の促進
各学科が何を目指してどんな活動をしているのかをHP等で分かりやすく可視化し、学科同士が成果や学びを共有できる場を作ります。

・やりたいこと予算の新設
学科生の「やりたい！」にスピーディーに対応し、新しい一歩を応援する予算枠を新たに設けます。

・体制の強化

おさけ学科 中井さんが新たに理事に加わり、理事10名体制で大学の運営を力強く支えていきます。また、これまで準備室だった「KATANOホイスコーレ準備室」が、正式に「企画室」として本格始動します。

おりひめ大学の魅力は、なんといつても「正解を決めつけない大人の余裕」にあります。「しななければならぬ」ではなく、「やりたい人が、やれるタイミングで、共に考える」。

そんな温かいコミュニケーションが、この交野のまちに根づいていることを誇らしく感じた総会でした。（文：井上哲也）



↑交野おりひめ大学HPです。